



開倫ユネスコ協会 Newsletter

第63号

足利市堀込町145 Tel 0284-72-5915

発行者 林 明夫 2011年4月1日

東日本大震災への支援募金のお願い

東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）により被災されました皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復興をお祈り申し上げるとともに、救援・救助活動に従事される皆様に深く敬意を表します。

開倫ユネスコ協会では、この未曾有の大災害で被災された皆様への支援として、書き損じはがきの回収と募金活動を行います。ぜひご協力を頂けますようお願い申し上げます。

また、皆様から頂いた募金は開倫ユネスコ協会より、日本ユネスコ協会へ全額を送らせて頂き、その後日本ユネスコ協会によって、当該地の教育委員会、及びユネスコ協会と相談の上、被災地の学校に直接義援金として寄付されます。皆様の温かい心が、被災地の子どもたちの学校教育のために役立ちます。

～日本ユネスコ協会からのメッセージ～

謹んで地震災害のお見舞いを申し上げます。
このたびの地震により、各地に甚大な人的・物的被害が生じました。被害を受けられたすべての皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。



観測史上最大規模の地震は、各所に信じられないほど大きな被害をもたらしています。一瞬のうちに、被災地の人々の生活は一変しました。春の訪れ前の寒さの中、家を失い、家族や友人を失い、平和な日常を奪われた人々は、今、必死でこの未曾有の危機を乗り越えようと頑張っています。私たちはその苦しみを分かち合い、できる限り復興へのご支援を進めて参りたいと思います。

ユネスコは、教育の普及による人づくりこそが、安心して暮らせる平和な社会づくりの基礎だと考えます。今回の震災は、人づくりの場である学校にも甚大な被害をもたらしました。新学期を前にして、被災地の子どもたちの学ぶ環境は大きな危機にあります。

そこで私たちは、被災地の子どもたちによりよい教育環境を整えるため、「東北地方太平洋沖地震支援募金」のご協力をお願いしております。被災地の学校が新学期を迎えたとき、子どもたちの学習にはいろいろなものが必要となります。そのような時に少しでもお役に立つように、皆さまからの募金は学校への義援金として役立たせていただきます。

皆さま、悲しみの中にある子どもたちの笑顔を取り戻すために、私たちと一緒に被災地の学校への支援の輪を広げてください。皆さまのご協力を心よりお待ち申し上げます。

2011年3月14日

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

会長 松田 昌士

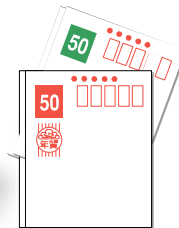


足利ユネスコ協会「私の町の宝物展」で
開倫塾賞に輝きました、皆さんです。



おめでとうございます。

寺子屋運動ってどんな活動？



世界中で、
8億8,000万人もの人々が
非識字で悩んでいます。



世界には、働かなければならなかったり学校が近くなかったりして、学校に行けない子どもが、7,200万人もいます。そして学校に行けず大人になり、文字の読み書きができない人が7億5,900万人もいます。こうした非識字者の多くは生活の糧のために子どものときから働かなければならなかった、貧しい人びと女性や少数民族、さらには戦争や内乱の犠牲になった 難民などが多く、成人の非識字者のうち3分の2が女性であると言われてています。



世界寺子屋運動は、このような子どもたちや大人が「学びの場=寺子屋」で読み書きや算数を学べるように、教育の機会を提供する運動です。そのために、

書き損じはがきを回収しています！